



温故知新



建設現場において活躍する外国人建設就労者を表彰します

「優秀外国人建設就労者表彰」でベトナム人2人が受賞

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の関連施設整備等による一時的な建設需要の増大に対応するため、緊急かつ時限的措置として、平成27年4月に「外国人建設就労者受入事業」が開始されました。

これまで約3,000名の外国人建設就労者が我が国の建設現場で活躍しています。当該外国人建設就労者のうち、建設技能・コミュニケーションスキルの習得、社会貢献活動に関する取組等が顕著であった以下の方々を表彰いたします。

ベトナム人受賞者は、◆グエン・タン・クインさん(職種:型枠施工、向井建設株式会社(東京都千代田区))、◆ホアン・ジン・ホアンさん(同:コンクリート圧送施工、株式会社ヤマコン(山形県山形市))の2人。このほか、中国人2人とフィリピン人1人が受賞しました。

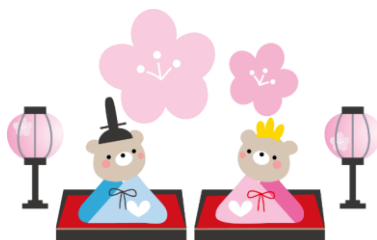


これにより外国人建設就労者の更なる技能向上を促すとともに、他の外国人建設就労者の我が国における建設活動に対するモチベーションの向上を期待します。



【今号の主な内容】

- P① 外国人就労者の表彰
- P② 正しく使おう フルハーネス
- P③ 社員紹介
- P④ ことわざ・格言、職長会のお知らせ



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL : 03-3572-1866
FAX : 03-3575-0420

ことわざ・格言になろう安全衛生訓



むり とお どうり ひ こ

● 無理が通れば道理引っ込む ●

・ 道理にかなった安全衛生活動を



「無理が通れば道理引っ込む」とは、道理、すなわち”人の行うべき正しい道”に反することが平気でまかり通る世の中では、道理にかなったことは行われなくなり、やがて「道理そのけ無理通る」ということになってしまうという戒めのことわざです。

道理に合わないことが行われるときには、道理にかなったことも行われなくなってしまいます。そして、無理なことでも強引にやり遂げれば「無理も通れば道理になる」と、つまり、それが習慣になってしまいます。

私たちの職場でも安全衛生規程や基準、作業手順など定められた道理があります。しかし、これらも最初は守られていますが、次第に省略や手抜きが始まり、やがて守らないことが当たり前になったという職場で発生した事故や災害が多くみられます。

「道理に向かう刃なし」「道理道を行く」という言葉があります。道理にかなった安全衛生活動をしっかりと行って、無災害の道を推進していきましょう。



【 職長会のお知らせ 】

★日時 平成30年4月23日(月)

★時間 18時00分～

★会場 銀座ユニーク 3階



なぜ、フルハーネス型安全帯が良いのか

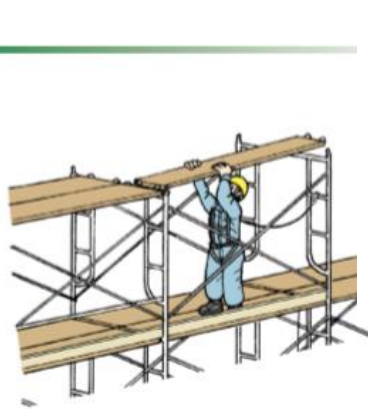
フルハーネス型安全帯は、墜落阻止時に身体が安全帯から抜け出さないように複数のベルトで構成されていますが、胴ベルト型安全帯は、1本のベルトを胴回りに巻きつけて身体拘束を行う構造になっています。墜落阻止時の衝撃荷重によって胴ベルトが伸びて緩みが生じ、胴ベルトがずり上がることによる胸部・腹部への圧迫（国内でも死亡事例が発生しています）、あるいは抜けによる地面への落下の危険性が考えられます。

また、胴ベルト型安全帯の場合、墜落阻止時に身体が「くの字」となり、腹部などへの圧迫が大きくなる可能性や、つり元であるD環の位置が身体の重心位置（腰部付近）よりも下（脚部側）になる“逆さま姿勢”となる可能性もあります。

現在では数多くの国々において、胴ベルト型安全帯からフルハーネス型安全帯への移行や使用義務化がすすめられています。我が国でも、厚生労働省の第12次労働災害防止計画には、“一定条件下でハーネス型の安全帯を義務付ける等、墜落時に衝撃が少ない安全帯を普及させる”ことを指導しています。

2. 墜落防止措置の原則

- 労働安全衛生法令では、墜落による労働者の危険を防止する措置として、高さ2メートル以上の箇所で行う場合には、作業床を設け、その作業床の端や開口部等には囲い、手すり、覆い等を設けて墜落自体を防止することが原則であり、安全帯はあくまでもこうした措置が困難なときの代替措置です。
- 安全帯に頼りすぎて、原則である作業床・手すり等の設置がおろそかにならないようにしてください。



胴ベルト型安全帯による「くの字」、「逆さま姿勢」

社員紹介



野田工業株式会社
工事営業部
グエン フウ フン

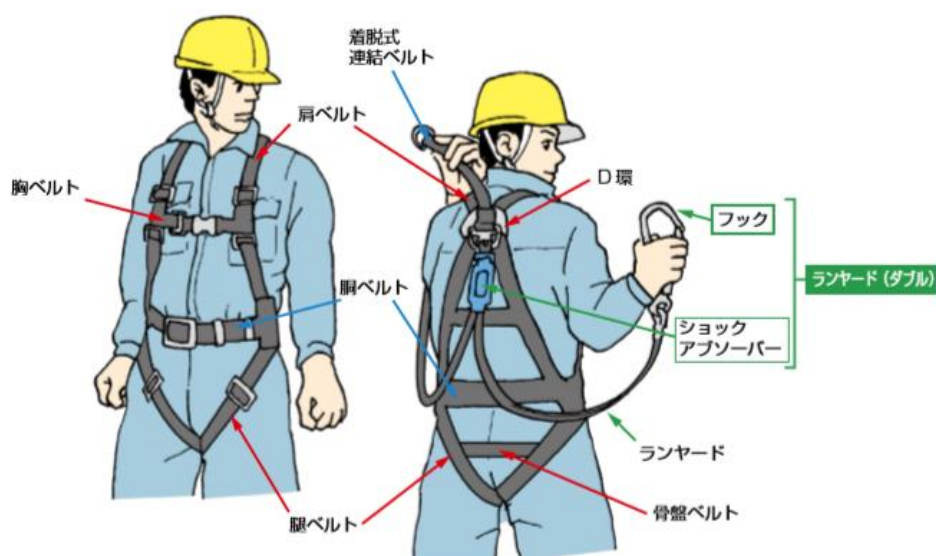
去年の6月から野田工業に入社致しました グエン フウ フンと申します。私は 今年で30歳です。趣味はサッカーやバドミントンをすることです。特にサッカーが大好きです。毎週友達と公園でしています。2008年から2011まで研修生として日本に来ました。日本での研修期間で、色々なことを身に付けました。研修している期間のうちに、もし帰国したら日本語を勉強し続けないと忘れてしまうといつも考えていました。だから、帰国したあとで去年、日本で勉強した日本語や身に付けたことを活かしたかったので 留学生として日本に戻り、日本の大学を卒業しました。現在、建設業に関わる仕事をしていますが、自分の経験が少なく、難しいと思います。しかし、会社のみなさんが親切で、熱心に教えて下さっていますから、早く仕事を覚えて一日でも早くみなさんのお役にたてるように頑張っていきますのでこれからもよろしくお願い致します。

正しく使おう フルハーネス

高所作業ではショックアブソーバー付きのフルハーネス型安全帯を使用しよう！

1. フルハーネス型安全帯とは

- ①フルハーネス型安全帯とは、肩や腿（もも）、胸などの複数のベルトで構成され、これによって身体が安全帯から抜け出すことや、胸部・腹部を過大に圧迫するリスクを低減します。
- ②フルハーネス型安全帯は、宙つり状態でも身体の重心位置（腰部付近）より頭部側にD環を維持するため、着用者の姿勢が“逆さま姿勢”になることを防止する機能もあります。
- ③ショックアブソーバーとは、墜落阻止時に発生する衝撃荷重を大幅に低減するためのものです。これにより、ランヤードに作用する軸力が小さくなるため、安全帯取付設備に作用する荷重が小さくなるほか、鋭利な角部等に接触した際に生じる摩擦力を小さくできるため、ショックアブソーバー機能を備えていないランヤードに比べ、ランヤードの切断リスクを低減する効果も期待できます。



※ショックアブソーバー付きランヤードの主な機能（緑矢印で示されたもので主に構成）

- 墜落阻止時に発生する衝撃荷重を大幅に低減します。
- 墜落阻止時における作業床等への接触・摩擦に起因するランヤードの切断を抑制します。
- 墜落阻止時の安全帯取付設備に作用する荷重を低減します。

